

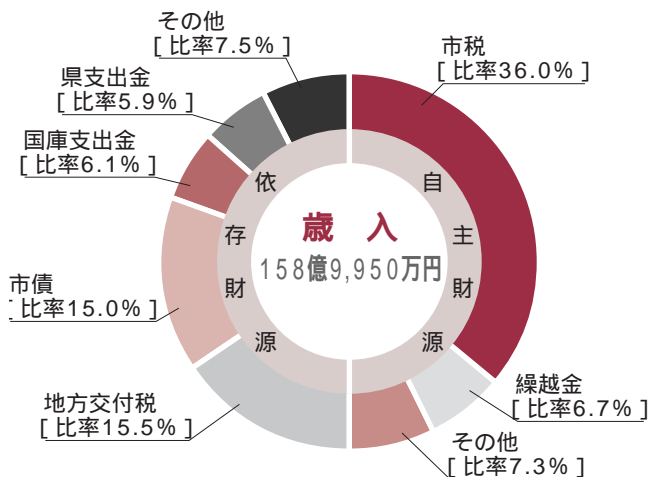
歳入

総額 **158億9,950万円**

景気は緩やかに回復基調にあるものの、市税収入は依然として低迷を続けています。三位一体の改革に伴い、所得税の一部が所得譲与税として暫定的に措置される一方で、地方交付税や臨時財政対策債等は減となり、一般財源は大幅に減少しています。

国県支出金については、合併市町村補助金などの国や県の財政支援策により大幅に増加しているものの、市の借金である市債については図書館建設事業・二中学区コミュニティセンター建設事業の実施により増加しています。また、市の貯金とも言える基金については、財源不足を補うため、大幅な取り崩しを行いました。

なお、繰越金の増加は、瓜連町及び那珂瓜連地区事務組合の決算剰余金を引き継いだことによるものです。



【自主財源】 地方自治体が自主的に収入し得る財源をいいます。歳入全体に占める自主財源の割合が高くなるほど、財政が安定し、自主性が高まります。

【依存財源】 国や県から定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入をいいます。

歳入		単位：千円	%：構成比
自主財源 50.0%	市税	5,730,443	36.0%
	繰越金	1,056,977	6.7%
	諸収入	414,740	2.6%
	繰入金	359,842	2.3%
	分担金及び負担金	222,770	1.4%
	使用料及び手数料	146,501	0.9%
	その他1	16,051	0.1%
依存財源 50.0%	地方交付金	2,469,858	15.5%
	市債	2,387,400	15.0%
	国庫支出金	973,931	6.1%
	県支出金	939,570	5.9%
	地方消費税交付金	408,661	2.6%
	地方譲与税	402,199	2.5%
	地方特別交付金	155,819	1.0%
	自動車取得税交付金	139,564	0.9%
	利子割交付金	49,199	0.3%
	ゴルフ場利用税	293	0.0%
	その他2	25,680	0.2%
合計		15,899,498	100%

【※1】 財産収入、寄附金

【※2】 株式等譲渡所得割交付金、交通安全対策交付金、配当割交付金

平成16年度 那珂市決算報告

平成16年度の那珂市一般会計・特別会計の決算が、9月の市議会定例会で認定されました。市では市民の皆さんに財政状況をお知らせし、市民の皆さんが納めた税金がどのように使われたのか、理解と関心を深めていただくために、平成16年度決算と、併せて平成17年度上半期（4～9月）執行状況について公表します。財政状況は年々厳しさを増していますが、事務事業の見直しや経費の削減を図りながら、今後も効果的で効率的な財政運営に努めていきます。

歳出

総額 **152億1,495万円**

【民生費】高齢者、障害者及び児童関係等の福祉事業を行っています。市制施行による生活保護扶助事業の開始や、児童手当支給事業の支給対象年齢の引き上げによる児童手当及び国民健康保険特別会計や介護保険特別会計への繰出金等により26億3,943万円となりました。

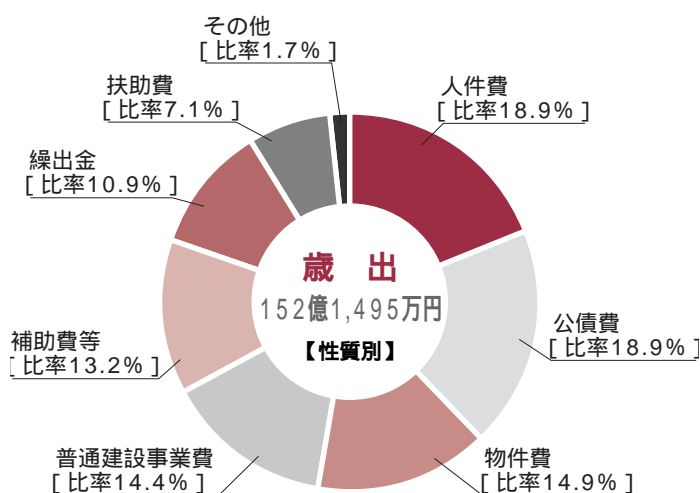
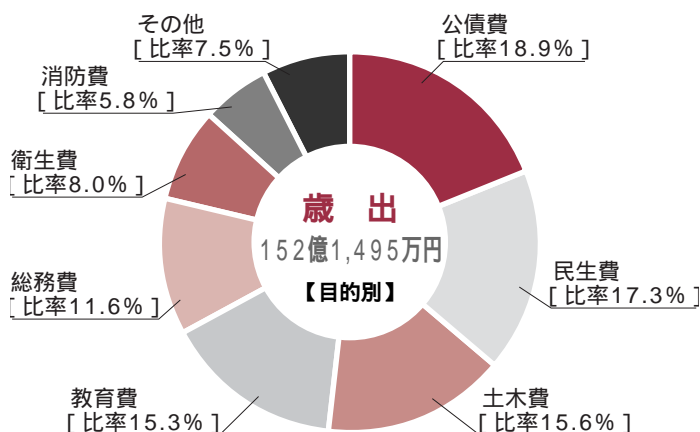
【農林水産業費】溜池整備事業や水田農業経営の確立と集団転作等への促進を図る水田農業経営確立対策奨励補助事業等により8億3,931万円となりました。

【土木費】まちづくり事業、道路改良舗装事業並びに下水道事業特別会計及び上菅谷駅前区画整理事業特別会計への繰出金等により23億7,437万円となりました。

【消防費】合併により那珂瓜連地区事務組合の人件費等を引き継いだことや、消防ポンプ自動車の購入等により8億8,208万円となりました。

【教育費】昨年に引き続き実施した二中学区コミュニティセンター建設事業や、図書館の建設開始等により23億2,663万円となりました。

【公債費】地方公共団体の減収額を補てんするために借り入れた減税補てん債の借換や、瓜連町及び那珂瓜連地区事務組合から債務を引き継いだことにより28億7,284万円となりました。



合併による引継ぎ

瓜連町		那珂市	
歳入	歳出	歳入	歳出
収入済額	支出済額	-	-
残額	残額	-	-

那珂瓜連地区事務組合	
歳入	歳出
収入済額	支出済額
残額	残額

【打切決算額】

【歳計剰余金】

【那珂市に引き継いだ予算額】

歳出（目的別）

単位：千円 %：構成比

公債費	2,872,839	18.9%
民生費	2,639,427	17.3%
土木費	2,374,370	15.6%
教育費	2,326,631	15.3%
総務費	1,763,694	11.6%
衛生費	1,207,738	8.0%
消防費	882,084	5.8%
農林水産業費	839,305	5.5%
議会費	232,278	1.5%
商工費	74,857	0.5%
諸支出金	1,722	0.0%
合計	15,214,945	100%

歳出（性質別）

単位：千円 %：構成比

人件費	2,873,919	18.9%
扶助費	1,075,524	7.1%
公債費	2,872,812	18.9%
普通建設事業費	2,186,957	14.4%
物件費	2,261,531	14.9%
繰出金	1,653,227	10.9%
補助費等	2,016,740	13.2%
その他	274,235	1.7%
合計	15,214,945	100%

【※1】維持補修費、積立金、投資及び出資金、貸付金

特別会計とは、市が特定の事業を行う場合に、その事務や経理の内容を明確にするため、一般会計とは別に設けたものです。那珂市では、国民健康保険や老人保健など8つの会計があります。

【国民健康保険】

歳入39億4,444万円 歳出37億9,843万円

国民健康保険加入者の医療費を支払う制度です。出産や葬祭費の一時金給付も行っています。老人医療制度の改定や合併に伴い、被保険者数・給付件数とも増加し、平成16年度末の被保険者数は21,606人となっています。

【老人保健】

歳入39億1,764万円 歳出38億8,739万円

高齢者の医療費を負担する制度です。平成14年10月の老人医療制度の改正で、対象年齢が70歳以上から75歳以上に引き上げられました。対象者数・受診件数とも減少し、平成16年度末の医療給付対象者は7,022人です。

【下水道事業】

歳入21億5,733万円 歳出20億8,319万円

市街化区域を中心に下水道の整備を行っています。前年に引き続き堤・横堀地区などの整備を行い、旧瓜連町内では中里・玉川地区の整備を引き継ぎました。国・県の補助事業が増加しています。また、下水道事業債の償還額は年々増加しています。平成16年度末水洗化人数は20,616人、世帯数は6,760世帯です。

【公園墓地事業】

歳入1,607万円 歳出1,451万円

福ヶ平霊園と、合併に伴い引き継いだ瓜連富士霊園の維持管理費等です。墓地利用者の管理料等の収入を財源としています。現在、福ヶ平霊園は第3期造成分が分譲中であり、平成16年度末現在では、福ヶ平霊園が造成基数1,357基のうち1,049基、瓜連富士霊園が造成基数458基のうち237基が使用されています。

【農業集落排水整備事業】

歳入2億8,322万円 歳出2億7,245万円

農業集落地区の下水道を整備しています。戸崎、西木倉、門部地区の処理場等の維持管理費や、神崎・額田地区、戸多北部地区の整備事業費です。神崎・額田地区は平成15年4月、戸多北部地区は平成16年4月に供用開始されました。平成16年度末の市内の水洗化世帯数は1,169世帯です。平成16年度には、鴻巣地区の実施設計などを行いました。

【介護保険(保険事業勘定)】

歳入19億1,951万円 歳出18億6,739万円

主に65歳以上の人を対象に、介護が必要と認められる場合に介護サービスを利用できる制度です。平成16年度末の要介護認定者は1,527人で、そのうち1,173人が介護保険のサービスを利用しています。サービス受給者数・収支とも年々増加しています。歳入は、40歳以上の介護保険料や国・県からの補助金、繰入金等で賄われています。

【介護サービス事業】

歳入4,860万円 歳出4,412万円

那珂市社会福祉協議会へ委託して、介護認定者への介護サービス(訪問介護、通所介護、ケアプラン作成等)を行っています。利用者が減少しているサービスもあり、収支は前年度より減少しています。平成16年度の各種介護サービスの延べ利用者数は7,530人でした。

【上菅谷駅前地区土地区画整理事業】

歳入2億8,741万円 歳出2億7,938万円

市が主体となって上菅谷駅前地区の土地区画整理や道路整備事業を行っています。歳入は、国や県からの補助金、市債等によって賄われています。主な支出は、移転補償料や工事費、建物工作物調査等の委託料などです。

平成16年度特別会計決算

単位：千円

区 分	歳 入	歳 出
国 民 健 康 保 険	3,944,439	3,798,426
老 人 保 健	3,917,643	3,887,388
下 水 道 事 業	2,157,330	2,083,192
公 園 墓 地 事 業	16,068	14,507
農 業 集 落 排 水 整 備 事 業	283,220	272,454
介 護 保 険 (保 険 事 業 勘 定)	1,919,505	1,867,391
介 護 サ ー ビ ス 事 業	48,596	44,117
上 菅 谷 駅 前 地 区 土 地 区 画 整 理 事 業	287,407	279,382

平成16年度水道事業会計決算

水道事業会計は独立した企業会計で、皆様からの水道料金を主な財源としています。

【給水人口】 55,768人

【給水戸数】 18,045戸

歳出(目的別)

単位：千円

収 益 的	収 入	1,009,460
	支 出	938,015
資 本 的	収 入	85,389
	支 出	530,435

資本的収入支出の差引不足額は、企業債の償還や建設改良工事に充てるための積立金、過年度分の減価償却費等の留保資金などで補てんしました。

平成17年度上半期（4～9月）執行状況等

平成17年度予算は、合併後に初めて編成した通常予算です。財政状況については前年度同様に厳しい状況が続いていますが、事務事業の見直しや経費削減など、効率的な予算の執行に努めています。

一般会計予算については、当初予算は175億7,000万円でしたが、事業の追加などにより2億3,543万円増額補正し、これに平成15年度繰越分2億3,146万円を加え180億3,689万円になっています。

執行率については、歳入では51.0%（対前年度比2.7%

増）歳出では35.5%（対前年度比3.7%増）となっています。

特別会計では、下水道事業や上菅谷駅前土地区画整理事業の収入率が低くなっていますが、これは、国や県からの支出金などの収入時期が年度末になるため、現時点では低くなっているものです。

また、市債残高は、瓜連町及び那珂瓜連地区事務組合からの債務を引き継いだことや図書館建設事業債、臨時財政対策債の発行などにより、一般会計・特別会計合計で70億3,559万円の増加（平成16年9月末比較）となっています。

平成17年度上半期（4～9月）執行状況

平成17年9月30日現在 単位：千円

会 計 名	予算現在高	収入済額	収入率	支出済額	執行率
一 般 会 計	18,036,893	9,201,596	51.0%	6,402,429	35.5%
特 別 会 計	14,331,365	4,676,200	32.6%	5,802,373	40.5%
国民健康保険（事業勘定）	4,535,111	1,557,447	34.3%	1,909,714	42.1%
老人保健	4,460,000	1,908,294	42.8%	1,973,512	44.2%
下水道事業	2,294,338	255,274	11.1%	717,919	31.3%
公園墓地事業	11,400	10,373	91.0%	1,187	10.4%
農業集落排水整備事業	397,553	41,670	10.5%	139,709	35.1%
介護保険（保険事業勘定）	2,170,933	871,564	40.1%	980,551	45.2%
介護サービス事業	44,500	23,551	52.9%	22,154	49.8%
上菅谷駅前地区土地区画整理事業	417,530	8,027	1.9%	57,627	13.8%
合 計	32,368,258	13,877,796	42.9%	12,204,802	37.7%

市債残高

平成17年9月30日現在 単位：千円

一 般 会 計 債	18,030,808
下 水 道 事 業 債	10,974,474
農 業 集 落 排 水 整 備 事 業 債	3,324,968
上 菅 谷 区 画 整 理 事 業 債	245,100
小 計	32,575,350
水 道 事 業 債	2,549,469
合 計	35,124,819

市有財産現在高

平成17年9月30日現在

土 地	1,601,519m ²
建 物	159,922m ²
出 資 に よ る 権 利	80,039千円
債 権	126,182千円
有 価 証 券	15,540千円
車 両 等	172台
基 金	4,632,461千円

問い合わせ 財政課財政係 ☎298 - 1111 内線523